

名誉会員 長尾 真 先生を偲ぶ

黒橋 禎夫

京都大学大学院情報学研究科

2021年5月23日に本会元会長・名誉会員、京都大学名誉教授の長尾真先生が逝去されました。先生は1936年10月4日に三重でお生まれになり、1959年3月に京都大学工学部電子工学科を卒業、1961年3月同大学院工学研究科修士課程電子工学専攻を修了され、同大工学部助手、講師、助教授を経て、1973年10月に同教授となりました。1986年大型計算機センター長、1995年附属図書館長、1997年工学研究科長・工学部長の要職を経て、同年12月から2003年12月までの6年間、第23代京都大学総長を務められたのち、京都大学名誉教授の称号を受けられました。

長尾先生は、永年にわたり情報学、特にパターン認識、画像処理、自然言語処理、機械翻訳、電子図書館に関する研究、教育に精励され、多くの研究業績をあげられました。パターン認識の分野では初期の郵便番号の自動読み取り装置に使われたオートマトンモデルを用いた手書き文字の認識、画像処理の分野では世界に先駆けてフィードバック解析機構を導入した顔画像認識、自然言語処理の分野では現在日常的に使われている日本語ワープロや文献検索システムなどの基となる日本語の形態素解析法、重要語抽出法、機械翻訳の分野では1982年から4年間科学技術庁の機械翻訳プロジェクトを推進するとともに、アナロジーによる機械翻訳という新たな翻訳方式を提案されました。さらに、これらの研究で得られた成果の上に、マルチメディア情報処理、デジタル通信機能を包含した総合的情報処理システムとして電子図書館の枠組みを提唱され、Ariadne と称する電子図書館システムを開発されました。

また、学界への寄与として、国際パターン認識連盟副会長、日本機械翻訳協会 (JAMT) 初代会長、アジア・太平洋機械翻訳協会 (AAMT) 初代会長、機械翻訳国際連盟初代会長、言語処理学会初代会長、電子情報通信学会会長、本会会長、認知科学学会会長など多数の学会要職を歴任するとともに、多数の国際学術誌の編集に携わり、多

くの国際会議を主催されました。

これらの多大な業績に対して、1993年 IEEE Emanuel R. Piore 賞、1997年電子情報通信学会功績賞、本会功績賞、紫綬褒章、1998年人工知能学会業績賞、2003年国際計算言語学会 (ACL) Lifetime Achievement Award、2005年日本国際賞を受賞されました。さらに、平成20年度文化功労者 (2008年) に選ばれ、同30年度文化勲章 (2018年) を受けられました。

京都大学総長在任中には大学内の諸問題の解決に尽力されました。学内に分立していたICT研究・サービス部門

を学術情報メディアセンターに統合し、情報学研究科、生命科学研究科など従来の学問の枠を越えた独立研究科を設置されました。また、京都大学の永年の課題であった新キャンパスについて学内の意思統一を図り京都市西京区の地に桂キャンパスを実現されました。京都大学退職後は、情報通信研究機構理事長、国立国会図書館長、国際高等研究所長、京都府公立大学法人理事長等、多くの要職を歴任されました。

以上のように、長尾先生は、情報学という学問分野を切り拓くとともに、後進の育成、大学運営、学術の振興発展等、多岐に渡る総合的な

貢献をなさいました。先生は、神職の家にお生まれになり、ご著書にも「自己を律し、全人的に生きたい」と書いておられます。スポーツを愛され、若いころは琵琶湖で水泳をして体を鍛えられ、ゴルフも相当の腕前をお持ちでした。また、音楽を愛され、京大オーケストラの演奏会にもよく足を運び、京都市音楽芸術文化振興財団の理事長も務められました。

学問的課題や社会課題に対して、常にバランスのとれた、論理的なだけでなく情のある見解・判断を示されました。先生のお意思を引き継ぎ、「地球社会の調和ある共存」に少しでも寄与することが残された我々の使命であると感じます。謹んで長尾真先生のご冥福をお祈りいたします。

(2021年6月10日)



御 略 歴

1936年10月4日	三重県生まれ
1959年3月	京都大学工学部電子工学科卒業
1961年3月	京都大学大学院工学研究科修士課程電子工学専攻修了
1961年4月	京都大学工学部助手
1966年11月	京都大学工学博士
1967年4月	京都大学工学部講師
1968年11月	京都大学工学部助教授
1969年9月～1970年10月	フランス・グルノーブル大学客員助教授
1973年10月	京都大学工学部教授
1986年4月～1990年3月	京都大学大型計算機センター長
1995年4月～1997年3月	京都大学附属図書館長
1997年4月	京都大学大学院工学研究科長，同大学工学部長
1997年12月	京都大学（第23代）総長
2004年4月	独立行政法人情報通信研究機構理事長
2007年4月～2012年3月	国立国会図書館長
2021年5月23日	逝去（84歳）

1960年4月	情報処理学会入会
1973年5月～1975年5月	情報処理学会理事
1980年5月～1982年5月	情報処理学会理事
1994年5月～1996年5月	情報処理学会副会長
1999年5月～2001年5月	情報処理学会会長
2002年5月	情報処理学会名誉会員

受賞・栄誉

1980年	情報処理学会創立20周年記念論文賞
1982年	日本科学技術情報センター丹羽賞
1986年	電子通信学会業績賞
1990年	国際人工知能財団学術研究賞
1993年	IEEE Emanuel R. Piore 賞
1997年	電子情報通信学会功績賞，情報処理学会功績賞
1997年	紫綬褒章
1998年	人工知能学会業績賞
2000年	IEEE Fellow
2003年	国際計算言語学会 Lifetime Achievement Award
2004年	言語処理学会10周年記念論文賞
2005年	日本国際賞
2005年	フランス共和国 レジオン・ドヌール勲章シュバリエ章
2008年	文化功勞者
2018年	文化勲章